

評価者	健康福祉部長	田中 良一
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進
目標とすべきまちの姿	市民が今まで以上に身近にスポーツ活動に取り組めるようスポーツ環境の整備が進んでいます。また、より一層のスポーツ行事の実施と奨励により、市民のスポーツに対するニーズやライフステージに応じたスポーツ活動が推進されることにより、市民のスポーツ実施率が向上し、スポーツ活動が充足されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	20.3%	平成30年度(2018年度)	22.1%	平成29年度(2017年度)	18.8%
	平成28年度(2016年度)	20.1%	平成27年度(2015年度)	21.5%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.0%	1.0%	0.3%
ちょうどよい	4.3%	45.4%	1.0%
効果不十分	5.8%	3.0%	8.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.6%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	3.5%	47.8%	1.0%
効果不十分	4.1%	2.6%	9.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.8%	0.4%	0.2%
ちょうどよい	2.8%	49.7%	1.4%
効果不十分	5.4%	2.6%	11.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.7%	1.4%	0.4%
ちょうどよい	3.7%	48.0%	1.2%
効果不十分	3.6%	3.9%	10.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	1.6%	0.1%
ちょうどよい	4.6%	42.8%	0.9%
効果不十分	5.6%	4.1%	10.4%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	15.0%	47.8%	10.4%	26.7%
平成30年度(2018年度)	17.4%	49.8%	6.9%	26.0%
平成29年度(2017年度)	19.5%	49.4%	7.4%	23.7%
平成28年度(2016年度)	19.9%	50.1%	5.0%	25.0%
平成27年度(2015年度)	20.3%	44.8%	7.4%	27.5%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①競技スポーツの推進について、東京オリンピック・パラリンピックの関連事業として特にジュニア世代を対象として、トップアスリートによる実技指導等、競技力向上につながる事業を実施する。(健福-52)
- ②オリンピックの機運を高めるため、オリンピック・パラリンピアンとの交流やマリンスポーツ体験等の事業を実施する。(健福-52)
- ③障がい者スポーツへの理解を高めるための事業を実施する。(健福-52)
- ④指定管理者や企業・スポーツ団体(各種目協会など)のノウハウを活用し、市民がスポーツに魅力を感じ、親しめる機会を提供する。(健福-54)
- ⑤老朽化が進む施設について、利用者の安全性、快適性の確保のため、指定管理者等との連絡調整を綿密に行い適切に管理運営する。(健福-54)
- ⑥平成31年1月末をもってPFI事業の期間が満了するこもれび山崎温水プールについて、円滑に平成32年2月以降の運営に移行する。(健福-54)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①③④ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて市民のスポーツに対する関心が高まっている機会を捉えて、各種スポーツ教室やイベントを開催し、市民のスポーツ活動の活性化を促進することでスポーツ実施率の向上を図る。
- ②トップアスリートの養成を支援することにより、その活躍により市民が今まで以上に身近にスポーツを感じ、スポーツ活動に取り組み、スポーツ活動を充足させる。
- ⑤⑥ 学校体育施設の開放や既存スポーツ施設におけるハード・ソフトの両面の充実により、市民が身近な所でスポーツ活動に取り組み、スポーツ実施率の向上を図る。

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
健福-51	保健体育運営事業	11,303	11,263	0.5	0.5	無	b	B
健福-52	各種スポーツ行事事業	14,339	13,886	1.5	1.0	無	b	B
健福-53	学校体育施設開放事業	25,177	23,531	0.5	0.5	無	b	B
健福-54	体育施設管理運営事業	320,821	231,508	2.0	1.0	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ①競技団体と連携し、競技スポーツ推進事業やジュニアアスリート育成事業等、競技力の向上に資する事業を実施した。(健福-52)
- ②マリンスポーツ関係団体と連携を図りながらイベントを開催し、マリンスポーツやビーチで行うスポーツの振興を図った。(健福-52)
- ③教育委員会及び車椅子バスケットボールチームと連携し、授業の中で体験会を実施した他、スポーツ・レクリエーションフェアやマリンスポーツフェアでは東京ガス(株)神奈川西支店との連携により競技用車椅子の試乗体験やポッチャの競技体験などを行い、障がい者スポーツの普及・促進を図った。(健福-52)
- ④指定管理者制度やPFI事業の活用等による管理運営により、市民等が安全にスポーツを行う環境を提供した。(健福-53)
- ⑤指定管理施設等の老朽化対応修繕や照明のLED化は、予算の範囲内で着実にいった。また、こもれび山崎温水プールは事業者によりLED化を達成した。(健福-54)
- ⑥こもれび山崎温水プールは、令和2年2月から新たに「公募提案型条件付貸付事業」を開始し、営業を継続した。(健福-54)

【実施できなかった事業とその理由等】

- ①③④台風の影響により、地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事のうち、市民運動会(17会場中16会場)を実施できなかった。また、新型コロナウイルス感染拡大により、第31回健康ウォーク「歩け鎌倉2020」及びジュニアアスリート育成事業の一部の事業等を実施できなかった。(健福-52)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>
 ・各種スポーツ行事事業は、自然災害等により複数のイベントが中止となった。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた実施方法等について検討を行う必要がある。(健福-52)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	健福-51	事業名	保健体育運営事業							
指標の内容	体育協会、レクリエーション協会加盟人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ・レクリエーションの充実度を把握するため	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000			
	実績値	11,987	11,970	13,074	12,944	11,811	12,123			
	達成率	85.6%	85.5%	93.4%	92.5%	84.4%	86.6%			
整理番号	健福-51	事業名	保健体育運営事業							
指標の内容	スポーツ実施率(1回30分以上の運動を週1日以上行っている市民の割合)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H18(2006)	H25(2013)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H18(2006)及びH25(2013)はスポーツ振興基本計画の策定及び改定に係る調査、R01(2019)は第4期基本計画策定に係る調査により結果を得た。		
鎌倉市スポーツ振興基本計画に定める目標(スポーツ実施率60%)に対する達成状況を把握するため。	目標値	60	60	60	60	60	60			
	実績値	47.2	46.4	調査未実施	調査未実施	調査未実施	44.4			
	達成率	78.7%	77.3%	-	-	-	74.0%			
整理番号	健福-52	事業名	各種スポーツ行事事業							
指標の内容	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加参加人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R01(2019)は台風の影響により市民運動会(17会場中16会場)が中止。		
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000			
	実績値	53,714	57,590	46,452	47,482	47,634	-			
	達成率	89.5%	96.0%	77.4%	79.1%	79.4%	-			
整理番号	健福-53	事業名	学校体育施設開放事業							
指標の内容	学校開放団体利用数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
市民スポーツの振興を図るため	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000			
	実績値	11,385	11,875	11,742	11,501	11,513	10,723			
	達成率	75.9%	79.2%	78.3%	76.7%	76.8%	71.5%			
整理番号	健福-54	事業名	体育施設管理運営事業							
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	445,000	450,000	454,000	456,000	456,800	457,600			
	実績値	451,957	391,953	427,533	456,592	453,154	382,299			
	達成率	101.6%	87.1%	94.2%	100.1%	99.2%	83.5%			
整理番号	健福-54	事業名	体育施設管理運営事業							
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100	100	100	100	100	100			
	実績値	92.0	82.9	89.0	88.2	88.8	91.7			
	達成率	92.0%	82.9%	89.0%	88.2%	88.8%	91.7%			